



大倉山ジャンプ競技場

昭和47年に冬季オリンピック札幌大会のジャンプ競技の会場になり、現在もワールドカップなどで使用されている競技場。大会の開催時を除き、一般の方もリフトで標高307mの展望ラウンジまで上り、選手が見下ろしている景色を一望できます。

所在地 中央区宮の森1274
営業時間 4/1(水)～5(日)9～17時、4/22(水)～10/31(土)8時30分～18時、11/1(日)～来年4/30(金) (予定) 9～17時 (券売は営業終了の30分前まで)
 ※7/1(水)～9/30(水)は18時～20時30分まで夜間延長営業
費用 市民は大人500円、小学生以下300円、障害者手帳をお持ちの方は大人400円、小学生以下200円 (住所や年齢が分かるもの、障害者手帳をお持ちください) ※保護者1人につき、未就学児1人無料
交通機関 円山バスターミナルからジェイ・アール北海道バス【くらまる号】か夜間無料シャトルバス【大倉山夜景号】乗車、「大倉山ジャンプ競技場」下車
駐車場 普通車113台。無料
詳細 ☎641-8585

ホームページ



7～9月の夜間延長期間の展望台からの景色もおすすめだよ!

マスコットキャラクター「くらやん」

豆知識!

昭和6年にホテルオークラの創設者でもある、大倉喜七郎の寄付により建設され、昭和7年に「大倉ジャンツェ (ジャンツェはドイツ語でジャンプ台の意味)」と命名。昭和45年に冬季オリンピック開催に向けて大改修を行い、「大倉山ジャンプ競技場」と改称されました。

札幌オリンピックミュージアム

冬季オリンピック・パラリンピックの歴史や選手の偉業を紹介する展示のほか、冬の競技を体験できる6つのシミュレーターを楽しめます。4月中はミラノ・コルティナオリンピックの特別展示も行っています。

1/17にリニューアルオープンし、シミュレーターもより臨場感が増しています。ぜひ遊びに来てください!



阿部 雅司館長



▲スキージャンプ選手の視点を体験できます。飛距離と着地の形で得点が決まります。K点越えを狙ってみては!



▲トレーニング用のスライドボードを使い、スピードスケート選手の運動量を体験できます。良い運動になりますよ!

営業時間 4/1(水)～21(火)9時30分～17時、4/22(水)～10/31(土)9～18時、11/1(日)～来年4/30(金) (予定) 9時30分～17時 (入館は閉館の30分前まで)
費用 大人670円、65歳以上は500円、中学生以下、障害者手帳をお持ちの方は無料 (年齢が分かるもの、障害者手帳をお持ちください)

※所在地、交通機関、駐車場、詳細については、大倉山ジャンプ競技場と同じ

ホームページ



豆知識!

高さは完成当初147.2mでしたが、平成17年にアンテナの一部を撤去したことにより、現在の144mに。長年、147.2mと認知されてきましたが、登録有形文化財への登録を機に、正しい高さの144mが周知されました。

札幌の観光スポットに詳しくなろう!

市内には、世界に誇る観光スポットが点在します。ここでは、6つの代表的なスポットの魅力や意外と知られていない豆知識などを紹介します。街の魅力を再発見しにお出かけしてみませんか。

テレビ塔

昭和32年に開業した電波塔。昨年3月には国の登録有形文化財にも認定されました。地上約90mの展望台からは、東西南北全ての方角を見渡すことができ、大通公園や周辺のビル群を一望できます。

所在地 中央区大通西1
営業時間 9～22時 (展望台最終入場は21時50分)。4月は4/8(水)が休業
費用 市民は大人800円、中学生以下は400円、未就学児は無料。障害者手帳をお持ちの市民は大人400円、小・中学生200円 (住所や年齢が分かるもの、障害者手帳をお持ちください)
交通機関 地下鉄大通駅直結
詳細 ☎241-1131

誕生日の前後3日間にご来場いただく展望台入場料が無料になり、プレゼントがもらえるパステル特典があるよ!



マスコットキャラクター「テレビ父さん」



▲展望台から見た市内中心部。天気良ければ、大倉山ジャンプ競技場も見えます

時計台

正式名称は「旧札幌農学校演武場」。札幌農学校の生徒が兵士の訓練などを行う演武場として明治11年に建てられました。明治14年に備え付けられた時計は、現在動いている機械式塔時計の中では日本最古のものとして、建物と共に国の重要文化財に指定されています。

所在地 中央区北1西2
営業時間 8時45分～17時10分 (入館は17時まで)
費用 大人350円、大学生150円、高校生以下、障害者手帳をお持ちの方は無料 (学生証、障害者手帳をお持ちください)
交通機関 地下鉄大通駅から徒歩約5分
詳細 ☎231-0838

ホームページ



豆知識!

時計は機械式で、動力となるのは重りの方です。実は週に2回、人力で巻き上げて動かしています。



豆知識!



かつて中央区北1西1（現在のカナモトホールの所在地）にありましたが、昭和31年、その土地に市民会館が建設されることに。豊平館の建物が取り壊される選択肢もありましたが、貴重な建築物を残そうという声が多く、昭和33年に今の場所に移築されました。



豊平館



明治13年に開拓使によって建てられた洋風ホテル。現存する木造ホテルとしては国内最古で、国の重要文化財にも指定されています。白い外壁を縁取る群青色はウルトラマリン・ブルーといわれ、かつて宝石として大切にされた瑠璃から作られた特別な色です。

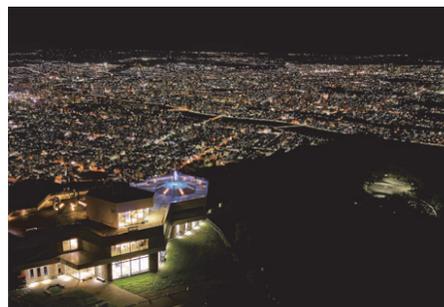
所在地 中央区中島公園内
営業時間 9～17時（入館は16時30分まで）、第4金曜は9～20時（入館は19時30分まで）。第2火曜（祝・休日の場合は翌平日）は休館
費用 大人350円、大学・高校生150円、中学生以下、障害者手帳をお持ちの方は無料（学生証、障害者手帳をお持ちください）
交通機関 地下鉄南北線中島公園駅から徒歩約5分
詳細 ☎211-1951



ホームページ



▲館内で最も広い2階大広間。館内にあるシャンデリアの半数は建設当初から飾られているものです



もいわ山ロープウェイ

展望台からは、日本新三大夜景にも選ばれたことがある夜景が見られます。雪が降っていても透過性が高く視界を確保しやすいナトリウム灯により街がオレンジ色に光り、宝石を散りばめたような景色が魅力です。

所在地 中央区伏見5
営業時間 4～11月＝10時30分～22時、12～3月＝11～22時（上り最終21時30分）
 ※4/23までは年次整備点検のため休業
費用 市民はロープウェイ・ミニケーブルカー（往復）＝1,100円、小学生以下550円、障害者手帳をお持ちの方はロープウェイ・ミニケーブルカー（往復）＝1,050円、小学生以下530円（住所や年齢が分かるもの、障害者手帳をお持ちください）
交通機関 市電「ロープウェイ入口」下車。ロープウェイ乗り場の山麓駅までは徒歩約10分
駐車場 無料シャトルバス 120台。無料
詳細 ☎561-8177



ホームページ

ロープウェイとミニケーブルカーに乗って展望台へ向かうも!



「も!」という鳴き声が特徴的なマスコットキャラクター「もーりす」



豆知識!



ロープウェイは2色あり、オレンジはエゾリス、シルバーはエゾフクロウをイメージして自然との調和を意識した色になっています。

もいわ山ロープウェイ
ペアご招待券10組(20人)をプレゼント!
 ※ロープウェイ・ミニケーブルカーの往復



応募方法 はがき、ファクス、Eメール、右上のコード。「読者プレゼント希望」と記入の上、住所、氏名、年齢、電話番号、本誌の感想を記入し、4/20月（必着）までに広報課（1ページ）へ。抽選



▲標高531mの山頂にある展望台